

「日の丸・君が代」強制反対、不起立処分を撤回させる

大阪ネットワークニュース

「日の丸・君が代」強制反対、不起立処分撤回を求める 大阪ネットワークへの参加・支援を呼びかけます

(1) 政治による教育支配をねらう不起立処分・再任用拒否の攻撃

安倍政権や維新の会は、政治が教育を思うままにできる制度をつくらうとしています。そのために、自らの意図に従わない教職員を学校・教育行政からも排除し、これまでの教育の平等性や民主主義的側面を、「競争主義」「市場原理」の名のもとに、全面的に破壊しようとしています。

大阪においては、「国旗・国歌強制条例」や「君が代」不起立3回で免職とする「教育基本条例」「職員基本条例」が強行され、そのもとで昨年の卒・入学式で37名が戒告処分とされました。さらに今年も府立高校9校11名・府立支援学校1校1名が不起立とされ、

2回目の処分となる2名には減給1/10・1ヶ月、他の10名には戒告処分が出されました。「この減給処分は、昨年・今年の東京での不起立についての減給処分取り消しの最悪の裁断でも逸脱した累積過重処分であり、不当極まりないものです」

加えて定年退職後の再任用について、昨年は「君が代」不起立を理由に2名が継続拒否や合格取消、今年は3名が再任用不合格や合格取消(うち1名は式場での発言が理由)とされました。

また今年の卒業式では不起立の意志を表明した教職員を式場から排除したり、「職員室勤務」の職務命令を出すなど、何が何でも不起立ゼロを目指す動きも目立ちました。さらに今年の入学式では、「君が代」不斉唱について司会をしていた教員が

校長から嚴重注意を受けました。昨年の卒業式で「口元チェック」をおこなった中原教育長は、9月4日、府立高校長に「斉唱」を「目視」せよとの通知を出しました。

(2) 反撃は開始されているー11名による府人事委員会等への不服申し立て

こうした攻撃に対して、大阪府人事委員会に、昨年は戒告処分7件・再任用拒否2件についての不服申し立てをいたしました。また卒業式での抗議行動を理由にした減給処分と再任用拒否について1名が豊中市公平委員会に不服申し立てをいたしました(ただし再任用拒否については不受

理との不当決定)。

そしてこの11名の不服申し立て者を支援する会・グループが結成され、職場での校長交渉や対府教委行動などが粘り強く展開されてきました。8月6日には山田肇さんの人事委員会第一回口頭審理がもたれ、また奥野さんは裁判提訴にも踏み切られています。

(3) 「日の丸・君が代」強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワークの結成

私たちはこれまで、「日の丸・君が代」強制反対ホットライン・大阪による卒・入学式での人権侵害の相談活動や2・11集会を中心とした活動を行ってきました。しかしこの間の維新の会による攻撃の中で、これと闘い、多くの被処分者を支えるための様々な取り組みが必要となってきました。

そこで私たちは、今年2月に、「日の丸・君

会員になって下さい

大阪ネットワークの会員になって皆さんの力で運動を支えてください。

年会費 個人2000円 団体3000円

振込先(郵貯) 00950-0-302981

口座名 「日の丸・君が代」強制反対大阪ネット

が代」強制ええんかい! 『競争』『強制』の教育でええんかい! 私たちは黙らない! 2・11全国集会を開き、以下のことを呼びかけました。①教育への政治介入に反対し、教育関連条例や職員基本条例の撤回をめざすこと、②競争主義や自己責任の押しつけに反対し、教育に対する子どもたちの権利の保障を要求すること、③府・市教委による卒業式・入学式への「君が代」

起立強制通知・職務命令に反対し、不起立処分を認めず、被処分者の処分撤回運動の支援を呼びかけること、④教職員による運動、子ども・保護者による運動、労働組合の運動、市民運動などが互いに連携しあうこと。さらに、「日の丸・君が代」強制と『競争』『強制』の教育の押しつけに反対する全国ネットワーク」をめざすことも呼びかけました

ン・大阪の組織体制を強化し、より広く闘いの輪を広げていくために、8月21日に「日の丸・君が代」強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワークを結成しました。今、安倍政権のもとで、憲法改悪・集団的自衛権の合憲化がねらわれ、「道徳」の教科化と内容の国家管理、「愛国心」教育の強制、教育行政権限の首長と教育長への一元化、「近隣諸国条項の撤廃」、教科書採択からの教職員の完

全排除等を手始めに、「内閣官房『教育再生実行会議』」が「提言」から強制の段階に進む手はずを整えています。またそのさきがけとしての維新の教育への介入が継続していることは周知の通りです。これに反対・抵抗する労働者・市民・団体のみなさんとともに手をつないで闘うことをここに宣言します。

維新の会の政治介入にさらされた

大阪の高校教科書採択

従来の高校の採択制度は、各高校ごとに「教科用図書選定調査委員会」が組織され、担当教科の教員が教科書を選定（希望）し、校長名で府教委に報告し、府教委は各高校からの「選定」を尊重していました。これまで各高校の「選定」を教育委員会が覆すことはありませんでした。つまり学校採択が行われてきたのです。

しかし、今年の大阪での高

校教科書採択は、この教育条理に基づく学校「選定」の尊重が覆される前代未聞の事態に直面しました。

各学校長に不当な圧力をかける大阪府教委

6月27日、東京都教委が「日の丸・君が代」に関して「一部の自治体で公務員への強制的動きがある」と記述した実教日本史を「不適切」との

見解を出しました。それをきっかけにして、大阪府教委と中原教育長は学校の教科書「選定」に圧力をかけ始めました。7月9日には都教委が指摘した実教の記述を取り上げ「一面的」であるとの見解を全ての校長・准校長にメールで送付しました。その結果、校長の中には教科の選定調査委員の中実教日本史を「選定」しようとしていることに圧力をかけ、無理矢理変更させた

学校も出てきました。

そのような状況の中でも9校が実教日本史を「選定」しました。すると府教委は8月21日に当該校の校長を呼び出し、「実教では採択されない可能性が出てきた」と圧力を加えました。

「維新の会」府議団による露骨な政治介入

8月に入り「維新の会」府議団は、違法な政治介入を繰り返しました。8日には「維新の会」府議団が中原教育長等と会い、「府教委は実教を採択すべきでない」と申し入れました。その場で中原教育長は、まだ教育委員に見せていない「選定理由書」を維新の議員に見せ、実教日本史を「選定」した学校名を伝えました。それを聞いた「維新」の議員は「府教委が止められないなら、皆で大挙してその学校に行こうか」とまで暴言を吐きました。これは政治介入どころか、脅迫に他なりません。

実教日本史「条件付きで採択」さらなる介入に警戒を！

8月30日の教育委員会議で中原教育長は「府教委に採択権がある」ことを何度も強調し、実教出版の日本史教科書を選定した9校の決定を強引に覆そうとしたが、教育委員から「現場の選定を覆すことは大変ハードルが高い」とか「現場の意見を尊重したい」などの意見があいつぎ、結果的には実教出版もふくめ、学校の選定どおりに採択されました。

しかし、実教科書の使用にあたっては「条件」がつけられました。これは実教科書の「日の丸」に関する記述を事実上覆すための措置です。今後実教を採択した学校に対して、府教委の「日の丸」強制や処分を正当化するための補助教材を強制したり、教員の授業内容を監視したりすることを前提にしており、今後警戒が必要です。

「第4回『日の丸・君が代』問題等 2013全国学習交流会」 (東京)報告

8月25日、「第4回『日の丸・君が代』問題等2013全国学習交流会」が東京都内で開かれました。翌26日には、文科省交渉と最高裁判所への申し入れ行動も行いました。

同交流会と行動は、2010年以降、毎年行われています。今年も、大阪で開いた「『日の丸・君が代』強制ええんかい! 『競争』『強制』の教育でええんかい! 私たちは黙らない!」2・11全国集会」が提起した安倍・自民党政権や橋下・維新の会による教育介入と教育破壊に反対する「全国的なネットワーク」をどう具体化させるのかも議論の重要なテーマとなりました。



大阪からの報告 ZAZAG ループ全員が決意表明

「『日の丸・君が代』強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワーク」からは、8名(内、「被処分者当該」5名)が参加し、「大阪ネットワーク」の結成と2013年の大阪の状況と取り組み

(①新たな3名への再任用拒否、②2名への減給処分を含む卒業式での10校12名への新たな処分、③入学式で「歌っていないかった」自白強制・厳重注意と中原教育長による「口音チェック」基準作り発言、④人事委員会での口頭審理の開始と人事委員会審理の全体状況を報告し、ZAZAGグループの5全員がそれぞれの思いを訴えました。2回目の不起立処分を理由に累積加重による減給処分を受けた奥野泰孝さんは、8月にも裁判に踏み切るための準備を進めていることを明らかにしました。

た。
子どもたちへの強制する都教委の新たな攻撃と今年度19回に及ぶ「再発防止研修」

東京からは、①都教委による子どもたちへの強制の新段階、②「君が代」不起立裁判の現状について報告がありました。①では、都教委は普通科目のすべてを「基礎・応用・発展」の三段階に分けることや「生徒指導統一基準」や「喫煙行為は停学△日」など全校画一基準化し生徒「懲戒」へのゼロトレランスが全校に押しつけられようとしていること、田無工業高校で強行された「自衛隊合宿」の実態などが報告されました。②では、「起立」強制と闘う田中聡史さん自身の思いと今年度19回にも及ぶ校内外での「再発防止研修」における被処分者への「いやがらせ」「いじめ」の実態、「君が代」二次訴訟、同三次訴訟、再雇用拒否撤回

2次訴訟、河原井さん・根津さん停職取り消し裁判など裁判闘争の現状と課題などが報告されました。

全国からの報告

全国からの発言では、神奈川県(個人情報保護裁判と高校日本史教科書採択への神奈川県教委の介入)、千葉(森田県政「道徳教育」強制)、新潟(不起立処分撤回の闘い)、愛知(河村名古屋市長と藤岡信勝の結びつき)兵庫(尼崎市の条例制定問題と職場での闘い)、福岡(県教委の教育介入と教職員支配)などが次々と報告されました。北村小夜さんは、1970年〜90年の福岡伝習館闘争支援の「自主教研」を前身とし、「国旗・国歌法」強行直後の2000年から再開してきた「日の丸・君が代」自主教研14年の歩みを報告しました。その他、宮城、静岡、香川、北九州などからの文書報告がありました。

愛知から「全国ネットワーク」具体化への提案

愛知から、①「日の丸・君が代」強制に対する闘い、②改憲と連動した「教育再生」
II 第二の教育基本法改悪に対

する闘いなどを柱とする全国ネットワークを早期に立ち上げることに、そのために各地代表者による全国合宿や新たなメーリングリストやプロジェクトチームの立ち上げなどについて、「たたき台」が提案されました。

参加者は、この提案について議論し、今回の交流会では、①全国各地での「日の丸・君が代」裁判等の情報を交換すること、②懲戒処分・分限免職を眺め除けるために闘うこと、③安倍「教育再生」「改憲」に対抗する新しい「全国ネットワーク」に結集しよう、④来年も交流集会を！大阪での全国集会（来年2月11日）にも結集を！とまとめられました。

文科省交渉し責任逃れの不誠実な回答に終始する文科省

大阪からは、大阪府・市職員基本条例の免職規定や累積加重処分規定が2013年1月16日の最高裁判決に反する点について文科省の見解を求めましたが、「地方自治の問題にコメントする立場にない」と逃げ、「司法の判断を尊重

する」と述べるに止まりました。しかし、こちらの追及に對して、「処分が不適切ならば、文科省は検討する。」とも述べました。また、教科書採択について、地方教育行政法23条6項を根拠に「採択権限」が教育委員会にあると強弁し、大阪府・東京都・神奈川県、大阪府教育委員会が高校日本史の教科書採択に公然と介入する行為を「適切な自治事務」と強弁し、明らかになかった教委による学校への政治圧力の是非は住民が質すべきとして文科省を完全に蚊帳の外に置き政治介入を容認しました。文科省は、まったく許せない不誠実な対応に終始しました。午後からは、最高裁要請行動が行われました。①都陣労組(3人)の『公正な審理と判決を求める要請書』、②東京小中(10人)の『大法廷にて公正な審理と判断を求める要請書』、③累積加重処分取り消し(近藤順一さん)の『最高裁に公正な判決を求める要請』、④米山良江さんの『判決を前に改めて訴えます』を手交して、公正な審理と判決を求めました。

集会等案内

10月5日(土)

●池北「君が代」処分を撤回させる会 まっすんサボーターズ 結成集会 (13時30分開場) 14時〜16時30分、豊中市千里文化センター「コラボ」

2階第4講座室(北大阪急行千里中央駅北改札口より西へ80m)、記念講演：中野五海さん「『君が代』処分撤回闘争の歴史と意義」、スピール他。

10月14日(月・祝)

●9条世界会議関西2013 (グループAZAZAブース出展) 10時〜16時30分、大阪市中央体育館。

10月19日(土)

●ドキュメンタリー「シヨックドクトリン」上映会 (Tネット共催) 18時30分〜21時、大阪市総合生涯学習センター

第1研修室(大阪駅前第2ビル5階)

10月25日(金)

●山田さん第3回人事委員会口頭審理 14時〜、大阪府咲洲庁舎29F(地下鉄ニュート

ラム・トレードセンター前駅)、本人尋問の予定、終了後総括集会。

11月2日(土)

●第11回「山田さんを支える会」 14時〜16時30分、高槻市民会館205号室(阪急高槻市駅)。呉光現(オ・クマンヒョン)さんの講演(在日朝鮮人から見た日本(仮題))。

11月7日(木)

●「君が代強制反対キリスト者の集い2013」信仰の良心のための闘い 18時30分〜20時45分、日本基督教団 東梅田教会、主催：君が代強制反対キリスト者の集い大阪実行委員会、当該として山田、奥野がスピーチ。

11月15日(金)

●「君が代」不起立でクビ?! 私たちは許さない! 11・15大阪集会 19時(開場18時45分)、クレオ大阪西ホール(JR・阪神西九条駅)。

11月17日(日)

●「梅原さんを支える会」第2回総会 14時〜、エルおお

さか南館71号室(京阪・地下鉄天満橋駅)。

11月30日(土)

●ZAZA☆座談会 『何で立たないの?歌わないの?』 14時〜17時、大阪市立大淀コミュニティセンター第1会議室(大阪市北区本庄東3丁目8番2号 TEL06-6321-0113) 地下鉄谷町線・堺筋線・阪急 天神橋筋六丁目二丁目出口北へ8分)。

12月14日(土)

●「君が代」処分撤回、「君が代」解雇阻止、来春の卒入学式に向けて(仮称) 18時〜21時、エルおおさか701号室、主催：戦争と「日の丸・君が代」に反対する労働者連絡会・豊中・北摂。

12月21日(土)

●第12回「山田さんを支える会」 14時〜16時30分、高槻南スクエア(阪急高槻駅南へ徒歩10秒) 講師：米澤鐵志、中沢啓治さんをしのんで『はだしのゲン』を読みつく、映画・講演。